



外国人学生と ともに平和を学ぶ



大阪YMCA
総合研究所長
たなか しんいち
田中 眞一

大阪YMCA日本語学校の入学式は、日本語、韓国語、中国語、英語の4つの言語で執りおこなわれます。20以上の国・地域から来ている新入生のすべての母語に対応はできませんが、聖書のことば、入学を歓迎する祝辞など日本語で話された内容が他の3つの言語に通訳されます。通訳してくれるのはYMCAで日本語を学習している在籍生です。新入生はよく分からない日本語を聞いて少し不安になるとともに、その日本語を通訳する先輩をまぶしそうに見ています。

そして1年後あるいは2年後、その新入生も修了式を迎えます。修了式は日本語のみでおこなわれます。聖書のことば、修了までの努力をたたえるメッセージとともに、入学式では聞けなかった修了生も一人ひとりの喜びと感謝が笑顔とともに日本語で表現されます。

多くの学生にとって入学式から修了式までの間、大阪での生活は楽しい時間ばかりではなく、つらいことも多くあったはずですが。以前修了したある学生は私にこう話してくれました。「はじめて大阪に来たときには、私は日本語がぜんぜん話せませんでした。国では勉強もしなかったし、自分に対しても自信がありませんでした。しかし、この2年間、一生懸命勉強しました。なぜこんなつらい思いをしてまで日本で勉強しないといけないのかと思ったこともありますし、日本が嫌いになったこともありました。でも、そんな私を支えてくれたのは先生方やチューターさん、アルバイト先の日本人たち、そしてほかの国から来た留学生のクラスメートでした。世界中の友達に支えられて日本語の勉強を続け、将来の夢を持つことができました。」

修了式に笑顔でスピーチしてくれる学生に共通に見られることが2つあります。ひとつは、どんな国の人、年齢の人とも心を開き、

気負わず対等に話ができることです。クラスメートの母語、文化、習慣、年齢などが多様であり、学習面でも、生活面でも個人として自立(律)を促す環境にあったからでしょう。

2つ目は、「○○人だから!」とステレオタイプで人を決めつけることはしなくなることです。教室内での日本語学習というグループワーク、YMCAカーニバルやチャリティラン、街頭募金などの協働作業を通して、日本人、中国人、韓国人、ウクライナ人、ロシア人とまとめて括るのではなく、面倒見のいいヤンさん、料理上手のキムさん、ダンスの好きなマリアさん、あわてものの藤岡さんと、それぞれの顔が浮かんでくる関係を築いているからでしょう。

欧州統合の原点にあるジャン・モネの思想は「国と国を結びつけるのではなく人と人を結びつける」とあります。最近世界の各地で国と国の関係がきつくなってきていますが、大阪YMCA日本語学校はいろいろな国・地域の人々が出会い、教え合い、学び合い、変わり合う場所、「平和」を学ぶ場でありたいと願っています。

INDEX

・外国人学生とともに平和を学ぶ	1P
・ボランティア活動紹介 ～語学・留学生事業～	2P
・英語幼児園土佐堀園開園報告 ・海外出向スタッフ報告	3P
・食育コラム ・創立記念礼拝告知 ・早天祈祷会 ・会員 ・賛助会員	4P

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

大阪YMCA

ボランティア活動紹介

～ 語学・留学生事業～



大阪YMCA国際専門学校 日本語学科スタッフ かわもと 川本 かおる

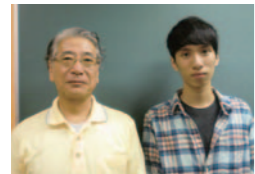
大阪YMCAには土佐堀校と上町校の2校の日本語学校があり、両校合わせて350名を超える学生が年間を通して学んでいます。また、夏休みや春休みにも2週間から4週間の期間で日本を訪れ大阪YMCAで日本語を学びながら、日本文化を体験する短期集中コースを実施しています。

日本の学校に進学するため、日本語を使う仕事をするため、日本に在留する家族と暮らすためなど、国籍も学習目的も多様です。

大阪YMCA日本語学校は外国語学習としての日本語を教えるだけの場所ではなく、日本語を通して日本や諸外国の文化を理解し合い、ひとりひとりがこの地球社会の一員であるという認識をもってもらうよう日本語教育を行っています。教職員以外にも多くのボランティアの

方々が関わっておられます。長期間在籍する学生の会話パートナーを主な活動とするボランティアチューター、短期集中コースのホームステイの受け入れを行うホストファミリー、その他、様々なイベントで文化体験の講師や企画準備をしてくださる方々など、ボランティアの方々のバックグラウンドもまた様々です。男性、女性、大学生、仕事の休みを利用される方、定年退職をされた方、主婦の方。ボランティアの方々からは日本語を学ぶ学生との出会い、日本文化を伝えることの難しさと楽しさ、違う文化や価値観を知り、視野が広がることなど、たくさんの発見と学びを得たという声を多数いただいています。支援する側と支援される側という関係ではなく、同じ地域社会の一員として出会い、共にかけがえのない絆を育む活動です。

ホストファミリー なかがわ しづえ 中川 志津江



ホストファミリーと留学生

2012年春に定年退職後、以前よりYMCAの講座に参加していた夫から「大阪YMCA日本語学校の短期集中コースのボランティアホストファミリーとして登録しよう」という話がありました。私自身は長年仕事をしていましたが、外国の方と接する機会があまりなかったため、少し不安な中でのスタートでした。

最初のゲストは、台湾からの女子高校生でしたが、中国語がわからずにうまくコミュニケーションがとれるかという戸惑いは、顔を合わせ、一緒に食事することでなんとなくかなるかなという思いに変わっていました。

文化や生活・食習慣が違っていても、家庭で共に生活する中でお互いを理解し合おうと、単語や電子辞書を使ったり、実際の食材などを見せたりしたことで、自国での生活や食べ物などを知ることができるきっかけとなりました。一番気になっていた食事は、食べられない物を残していても気にしないようにしていました。台湾での学校の様子や将来の希望などを聞いているうちに、応援をしていきたいと思いました。近くにある学業祈願の家原寺に、大学入試の合格をお願いに行くなど、家庭でリラックスできるようにと取り組んだりもしました。合格を願って書いたハンカチの張られた前を通るごとに、今日のようにしているかなあ、という思いにもなります。

また、別の国際プログラムでYMCAより紹介されたゲストは、リベリア、ミャンマーからでした。訪問したこともなく、どのような国でどのような生活をしているのかも分かりませんでした。ゲストを通して様子も少し分かり、帰国後の活躍を願うようにもなりました。短期集中コースからの2人目になる高校生の受け入れ時には、私自身が多くの刺激を受け、楽しもうという気持ちでした。

「習うよりは慣れる」と言われるように、今後は海外旅行やボランティアホストファミリーとして、多くの外国の方々とふれ合い、様々なことをもっともっと知りたくと願っています。このような機会に恵まれたことに感謝しています。

日本語ボランティアチューター おがわ ともこ 小川 誠子



私は、1年間日本語チューターのボランティア活動をしました。私にとって初めての経験でした。日本語チューターの活動内容は、週に一回一時間程度で留学生と会話をするだけです。これなら、私にも出来るボランティア活動だと思い、始めることにしました。

初めてパートナーと会う日、凄く楽しみな反面、緊張と不安がありました。私のパートナーは台湾の方で日本語が上手でした。この人なら言葉の心配がなく楽しく仲良くなれると思いました。しかし初日を終えたとき、難しい活動を始めてしまったと感じました。なぜなら、言葉の壁はないが二人の間に「壁」があったのです。私は相手にたくさん話してもらいたいと思い、留学生は自分の日本語能力を心配し私に気を遣い自分の話ばかりしてはいけないと思っていたのです。そのために、会話が續かなくて沈黙もありました。これではいけないと思い、私は感じたことを素直に伝えました。

半年経った頃からお互いの壁がなくなり、思ったことや感じたこと、意見などを素直に話せるようになり、私の相談にまで乗ってもらうようになりました。私の周りには日本人の友達にはない価値観でアドバイスをしてくれたことがとても嬉しく、また今までにない見方で考えることが出来ました。国籍の違う人と会話をして、お互いの国のことや当たり前だと思っていたことが留学生から見たら不思議だったことに、この活動をしていて気づくことが出来とても楽しかったです。

大変なこともありますが、その倍以上に楽しくて嬉しいこともありました。このボランティア活動をして私は自分の気持ちを素直に相手に伝えることの大切さに改めて気づくことが出来ました。これらの経験から国籍など関係なく様々な価値観があることを学び、今後出会う人達と心から繋がり、物事を色々な角度から考えたいと思います。

英語幼稚園 土佐堀園 開園!

Welcome to Panda Class! Let's have fun!

ようこそパンダクラスへ! みんなでたのしもう!

大阪YMCA 英語幼稚園土佐堀園 スタッフ おばた はなえ 小島 英恵



2014年4月1日(火)午前8時より大阪YMCA 英語幼稚園土佐堀園が14名のかわいい園児たちと4名の保育者とともに開園いたしました。今年度は2歳児クラスからのスタートです。日本語でも英語でも馴染みのあるかわいい動物「パンダ」をクラス名にしました。お友だちはみんな気に入ってくれたようです。

YMCAで大切にしている「YMCA Character Development (Caring・Honesty・Respect・Responsibility)」をパンダクラスでも伝えたいということで、お友だちにも分かりやすいよう次の4つの言葉を毎日、心と身体で伝えています。



Good Pandas.

- Try their best. (一生懸命やろう。)
- Make mistakes (it is OK!) (いっぱい失敗しよう。大丈夫だよ。)
- Respect others. (お友だちを大切にしよう。)
- Work hard and Play hard. (よく学びよく遊ぼう。)

「未来を築く力強い子どもたちを家庭、地域社会と共に育てます」という大阪YMCA 使命をもって、私たち自身も大切な子どもたちとご家族に教えられながら成長していきたいと思えます。ぜひ、お近くにお寄りの際は遊びにいらしてください。皆様のご来園を心よりお待ちしております。



2014年度 海外出向スタッフ報告

香港中華YMCA出向 うえむら 植村 のぞみ



天水園幼稚園の先生2人と植村スタッフ(右端)

YMCAは、私に素晴らしい経験のチャンスを与えてくださいました。

今、私は香港中華YMCAの方々と共に働いています。その中で、2つの仕事に携わらせていただいています。まず一つは幼稚園での働きです。同じYMCAの幼稚園でも、カリキュラムや学んでいることが日本とは違うことを知りました。私には実際に保育に入る時間を与えていただき、3つの幼稚園を巡回して、日本の言葉や遊び、文化などを伝えています。

二つ目は、香港在住の日本国籍を有する幼児(年中・年長)、小学生～中学生の子どもたちが土曜日に通う日本人補習授業校での働きです。私は主に、年中・年長の子どもたちが通う幼稚園に関わらせていただいています。そこでは日本語の読み書き、伝統文化、歌などを通して、日本のことを伝えています。

これまで、日本で生活し、大阪YMCAで教員として関わってきましたが、今は生活など全てが新しいことだらけで最初は戸惑いもありました。しかし香港も、日本も、子どもたちのキラキラとした笑顔は全く変わりません。子どもたちの芽が豊かに育つために、今までYMCAの幼稚

園で培ってきた、子どもたち一人ひとりを大切にできる気持ち、また共に歩む気持ちを忘れずに、たくさんのお見守りの中で生活を共にし、過ごしていきたいと思っています。

そして、海を越えて出会った子どもたちと、日本の子どもたちとを繋ぎ、友だちになるお手伝いができたらと思っています。言葉は通じなくても、子どもたちの素敵な力が、お互いの心を通じ合わせることに願っています。

1年という長いようで短い期間の中で、精一杯日本の良いところを伝えたいと思います。言葉がなかなか通じない国でトライした1年後、言葉の通じる日本でどれだけのことができるのか、今からワクワクしています!



日本人補習授業校の子どもたち

今が旬! 苺は3拍子揃った人気の野菜

どうも たかこ
YMCAサンホームスタッフ 堂本 隆子

今年年中食べることができる苺ですが、ハウス栽培は10月下旬～翌年5月頃、路地物は5、6月に収穫され、今がおいしい旬の時期です。ケーキや大福、ジャムなどお菓子には欠かせない存在ですが、実は苺は果物ではなく野菜なのです。種を植えて1年で実をつけて枯れてしまうものを野菜、実をつけるまで2年以上必要とし、その後は何度も収穫されるものを果物と分類するそうです。しかし甘くてかわいい色と形の苺はおかずではなく、デザートとして食されるので販売時には果物として扱われています。見た目や味だけでなく、栄養価も高く、ビタミンCが豊富で、中粒なら7粒で1日の必要量が摂れ、風邪やストレス予防、美肌作りに効果的です。赤い色素成分のアントシアニンは、眼精疲労回復やがん予防にも効果があるといわれています。味、容姿、栄養と3拍子揃った人気の苺は、単価が高く、地域活性化のため、各地で独自のブランド化への品種改良が活発に行われ、白い苺や1粒5万円なるものも登場する白熱ぶりです。さて、みなさんは、ブランドの区別がつかますか?



代表的な苺の品種

- とちおとめ(栃木).....甘みが強く日もちが良い。日本一の生産量
- あまおう(福岡).....「赤い・甘い・大きい・うまい」の頭文字で名づけられた
- さがほのか(佐賀).....大粒で甘みが強く酸味が弱い
- 紅ほっぺ(静岡).....大粒で鮮やかな赤色、甘みと酸味のバランスが良い

とっても簡単!

苺を使ったお祝いのチーズケーキ

【材料】

18cm 丸型1台分(使い捨て型紙でも可)

A

- 卵 _____ 2個
- 砂糖 _____ 50g
- 薄力粉 _____ 大さじ3
- カルピス(苺)またはレモン汁 _____ 大さじ2

B

飾り

- クリームチーズ _____ 250g
- 生クリーム _____ 200cc
- 苺、市販のクッキー、生クリーム、チョコペン(白)

【作り方】

クリームチーズは電子レンジで加熱して柔らかくしておく。

1. ミキサーに**A**を入れて攪拌する。(ハンドミキサーでも可)
2. 次に**B**を入れて全体がなめらかな生地を作る。
3. 型に生地を流し込み170℃のオーブンで40～50分焼く。
4. 粗熱をとり、冷蔵庫で冷やしたあと、市販のクッキーの上にチョコペンでメッセージを書き、苺を半分切ってハート型にしたものをお皿に飾る。

大阪YMCA創立記念礼拝

- 【日時】 2014年6月7日(土) 13:00～13:45
- 【場所】 大阪YMCA会館10階チャペル
- 【奨励】 岡村 恒 牧師(日本基督教団 大阪教会 主任牧師)

大阪YMCA早天祈禱会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

- 第253回 日時…2014年5月16日(金)7:30～8:30
- 証し…はまの まさやす 浜野 昌保さん (本部事務局スタッフ)

場所…大阪YMCA会館 10階 チャペル
問合せ…大阪YMCA 本部事務局 総務
TEL:06(6441)0894 E-mail:info@osakaymca.org

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2014年3月度報告

【新規会員】

- 碓 由衣
- 鈴木 絹子
- 坪井 梨世
- 中川 侑紀
- 長野 碧
- 中村 実樹
- 濱野 菜奈
- 堀田 教史
- 森本 瑞希
- 藪野 朋美
- 矢守 涼子

【継続会員】

- 石津 雅人
- 伊藤 俊彦
- 稲谷 成美
- 大東 義史
- 大村 肇
- 大藪 芳教
- 岡本 剛介
- 川端 明日香
- 木内 柚花
- 小森 敬久
- 榮 彩那
- 坂本 哲朗
- 佐古田 修
- 佐藤 恵理子
- 里脇 亜美
- 芝田 光雄
- 新保 正秋
- 鈴木 良洋
- 隅田 保
- 高田 真由子
- 田土 美咲
- 谷川 寛
- 谷國 晴瑠佳
- 中村 茂高
- 中村 隆
- 中村 隆幸
- 能條 未波
- 畑 ひとみ
- 早田 充哉
- 東 良學
- 福岡 万里子
- 福本 沙也加
- 藤村 加菜
- 藤原 正巳
- 淵岡 紗希
- ベンジャミン ミツダ
- 前田 絵梨香
- 松浦 孝次

- 三浦 直之
- 村内 亜莉沙
- 安田 萌
- 山田 孝彦
- 山中 秀男
- 友 岳之
- 米本 陽香
- 何早林

【継続賛助会員】

- 株式会社甲南保険センター
- 有限会社サイテックエンタープライズ
- 株式会社サンケイビルマネジメント
- 株式会社神鋼ヒューマン・クリエイト
- 清風商事株式会社
- 日東化成株式会社
- パナソニック株式会社
- 株式会社ワイサービス

